

「関西社会人大学院連合」設立について

関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学
社団法人 関西経済連合会

大阪における都心部活性化のため大学集積を図るとともに、社会人の人材育成を行うために、2003年8月に産学の協力のもと発足した「梅田大学院コンソーシアム(準備会)」を、今般、「NPO 法人 関西社会人大学院連合」として発展・改組させる。

1. 発展・改組の理由・必要性

- ・都心部への大学(院)及び大学(院)サテライトの集積は進んでおり、当初の目的に対し一定の成果が上がっている。一方、社会人大学院については、定員が大幅に増加し供給過剰気味の状態になっている。
- ・社会人大学院への入学者の増大・教育研究の活性化は、社会人一人一人にとってのキャリアアップを図るにとどまらず、地域の企業・自治体の組織力の向上、地域経済の活性化につながる。
- ・このため、社会人大学院と経済団体が従来にも増して連携・協力して、関西地域の社会人教育の機能を強化する必要がある。そこで、こうした機能を専門的・効果的に有する組織として、従来の「梅田大学院コンソーシアム(準備会)」を発展・改組し、「NPO 法人 関西社会人大学院連合」を発足させることとしたい。

2. 新しい組織の概要

- (1) 名称：NPO 法人 関西社会人大学院連合
- (2) 呼びかけ人：関西大学学長、関西学院大学学長、同志社大学学長、立命館大学総長
- (3) 目的：関西経済連合会が提唱した「インテリジェントアレー構想」に基づき、社会人大学院等と経済団体および地元自治体の連携によって、社会人に対し一層充実した教育機会を提供する。こうした取り組みを通じて、地域における人材育成能力の強化、ひいては関西経済の活性化に資することを目的とする。
- (4) 会 員：団体会員(大学・大学院) 個人会員、賛助会員
- (5) 役 員(理事)：呼びかけ人を中心として構成する。代表理事(理事長)校を互選する。
- (6) 事務局：大阪市内に設置する。
事務局長は代表理事校、事務局次長は当面の間、関経連事務局から選任する。
実際の日常事務局業務は、RENA(大学入学情報図書館)に委託する。
- (7) 事 業： 専門セミナーの運営、科目等履修制度を活用した講座開設・運営、
関経連会員企業との意見交換・交流会及びアンケートの実施、
社会人大学院連合として省庁の競争的資金の申請、
その他の社会人大学院に対する社会人(企業・自治体など)のニーズを集めるための
各種事業の実施
- (8) 会 計：主に会費および事業運営費をもって事業活動の経費とする。
団体会員会費は1校あたり年間20万円(予定)。事業運営費は各事業ごとに徴収
(例えば専門セミナー提供大学からの事務局経費：これは従前どおり)。
- (9) 発 足：2007年4月中の合意をうけてNPO 設立の申請を行い、9月頃を目途にNPO 組織として正式に発足する。

以 上